

平成 21 年 6 月 15 日

国土交通省近畿地方整備局
木下誠也局長殿

淀川水系流域委員会
委員長 中村 正久

要 望 書

淀川水系流域委員会は、

- 1) 淀川水系河川整備計画（案を含む）の計画内容の進捗の点検にあたって意見を述べる
こと
- 2) 淀川水系河川整備計画（案を含む）の変更について意見を述べる
こと
- 3) 関係住民の意見の反映方法について意見を述べる
こと

を目的として設立されました。第三次委員会は、現在、平成 19 年 8 月 9 日付の貴整備局からの要請に基づき、1) の進捗の点検をめぐる意見書をまとめるべく鋭意審議を進めております。

一方、現行委員会の任期は既に二ヶ月足らずとなり、第四次委員会への引き継ぎが喫緊の課題となっております。ご承知の通り、平成 19 年 4 月 6 日付「淀川水系流域委員会レビュー委員会まとめ」には委員会活動を通じた透明性の高い情報公開を継続することの重要性が指摘されており、また去る 5 月 21 日には歴代の元委員長が、委員の選考方法、早期の選考開始などに関して貴職宛に要望書を提出されました。さらにマスコミ報道などでも本委員会の継続に高い社会的関心が示されていることが伺えます。こういった背景の下、6 月 9 日に開催された第 86 回委員会におきましては出席委員全員の賛成で、空白期間をおかない第四次委員会の設置および委員の選出に係る以下の要望が採択されましたので、ここに要望書として貴職宛に提出致します。

1. 第三次委員会と第四次委員会の間に委員会活動の空白期間が生じないように、速やかに必要な準備を開始すること。
2. 委員選出プロセスに関しては、第一次、第二次、第三次の場合と同様、第三者による委員候補推薦委員会により委員候補の推薦を行なうなど、公平で中立的な選考方法を踏襲すること。
3. 委員選出に関しては、第一次、第二次、第三次の場合と同様、公募委員の選出枠を設けること。

この件については、来る 6 月 30 日に開催される第 87 回委員会の冒頭に審議することになっておりますので、御回答の準備と公表につきましてよろしくお願い申し上げます。

以上